

## 地域活性化人材育成事業～SPARC～ 中間評価結果一覧

### ○評価結果

整理番号	タイプ	事業責任大学名	参加校名	事業計画名	総括評価
1	①	山梨大学	山梨県立大学	知（地）のソーシャルキャピタル～学びの山梨モデル～構築事業	S
2		信州大学	長野大学 佐久大学	「しあわせ信州」を創造する地域活性化高度人材育成プログラム	A
3		山口大学	山口県立大学 山口学芸大学	ひとや地域（まち・文化・教育）のwell-beingに貢献する文系DX人材の育成	S
4	②	岐阜大学	中部学院大学 岐阜市立女子短期大学	ぎふ地域創発人材育成プログラム ～地域活性化を目指した知的基盤の確立～	A
5		熊本大学	熊本県立大学	くまもとの未来を拓くグローバルDX人材育成プロジェクトー地域社会と国公私3大学の連携による”くまもと型文理融合DX教育”の構築を目指してー	A
6		宮崎大学	南九州大学 宮崎国際大学 宮崎学園短期大学	新しい価値を創造し持続可能な地域づくりを牽引する『多様な未来共創人材』の育成プログラム	A

※タイプ①：学部等の再編を目指す取組、タイプ②：高度な連携を目指す取組

### ○総括評価分布

区分	評価	件数	割合
S	計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。	2件	33.3%
A	計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。	4件	66.7%
B	一部で計画と同等又はそれ以上の取組も見られるものの、計画を下回る取組があり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。	0件	0.0%
C	取組に遅れが見られるなど、総じて計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するためには、当初計画に基づく目標の早急な達成や事業規模の縮小等に向け、財政支援の縮小を含めた事業計画の抜本的な見直しが必要である。	0件	0.0%
D	現在までの進捗状況に鑑み、本事業の目的を達成できる見通しがなく、採択事業計画への財政支援を中止することが必要である。	0件	0.0%